

経営協議会（学外委員）からの意見に対する取組状況（平成23年度）

意見	取組状況
<p>○研究不正の再発防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> 不正が行われていないことを国民から付託されているため、学内における丁寧な議論を行って欲しい。 <p>(H23. 5. 19 第41回経営協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研究不正の再発防止対策として、次のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 研究・国際担当理事を中心に、各部局の会議において、「金沢大学研究者行動規範」及び「国立大学法人金沢大学における研究活動の不正行為防止等に関するガイドライン」の説明を行った。 研究費等の不正防止体制の恒常化及び強化を図るため、学長直属の委員会として、研究費等不正防止計画推進委員会を設置した。
<p>○入学志願者確保の対策等について</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校に対する働きかけについて、大学の先生が高校を訪問し、進路担当の先生と話しをすることに意義がある。 「金沢」という街には独自性があり、「金沢」にある金沢大学にも一層の独自性が必要であり、入試においても金沢大学らしい継続性が必要である。 <p>(H23. 9. 15 第43回経営協議会)</p> <p>○大学の運営（特に入試、広報）について</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の大学と比べて事務職員の数が多いのではないかと。多いのであれば、広報に重点を置くべきではないかと。長期低落傾向であり、大学としてのアピールが不足している。 全国から学生を集めずに近隣地区で学生を募集し、質を上げることも検討すべき。大学はグローバル化する一方で、近隣地区で学生を募集する方法の一つである。 金沢は京都と同様に良いイメージを持つ都市であることを念頭に置いて、Facebookなどの新たな媒体で差別化した広報活動を行ってはどうか。 <p>(H23. 12. 16 第45回経営協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度における重点地域での高校訪問について、志願者数の実績が多い北陸地域以外の都道府県にも訪問することとし、長野県(4校)、群馬県(5校)を新規に実施した。 「金沢」という独自性のある街を活かした広報活動として、機内誌に金沢大学出身の企業経営者と学長との対談（金沢の紹介、学生時代の思い出、今後の金沢大学についての思い）を掲載した。 本学ホームページにFacebookを開設し、本学の最新情報を提供することとした。 金沢大学広報誌「Acanthus(アカンサス)」に、当該広報誌に関する読者の意見、感想のアンケート用紙を添付し、今後の紙面の充実化を図ることとした。

<p>○看護師確保のための処遇改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師を確保するための処遇改善は実施すべきである。また、看護師確保のための方策（看護師が余っている地方への積極的な求人、奨学金の給付）を検討すべきである。 <p style="text-align: center;">(H23. 11. 22 第 44 回経営協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・附属病院における院内教育の状況、認定看護師数、専門看護師数、昇進制度等の現状分析を行い、それに基づき今後の対応について検討し、看護師に係る処遇改善について、第 4 5 回経営協議会 (H23. 12. 16) で承認された。
<p>○先端科学・イノベーション推進機構（案）の設立について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドミニストレーション部門がやや細切れな感じを受けるため、業務については、多能工的に分担するようにし、セクショナリズムに陥らないようにして欲しい。 <p style="text-align: center;">(H24. 1. 20 第 46 回経営協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部門間のセクショナリズムに陥らないよう主担当、副担当を設けるといった複数の部門に跨った業務を各人が行うことを原則とするなど組織設計を行った。